

農林水産業関連

1 畑かん水活用によるたんかんの適期管理を呼びかけ

10月31日～11月2日、徳之島町と天城町にて、たんかんの幼木及び成木の栽培講習会を開催し、計4か所で延べ117人の農業者及び関係者が参加した。

講習会では仕上げ摘果や夏秋梢処理、施肥管理、病虫害防除などについて講習を行った。

また、今年は9月上旬以降、降雨量が少なく、成木園では日焼け果が発生し、幼木園では葉の黄化が見られることから、畑かんを活用したかん水の徹底を呼びかけた。

農業普及課では、今後もたんかんの適期管理に向けた支援を行っていく。



2 未来の担い手に畑かんの大切さを伝える

10月27日、徳之島町立東天城中学校の生徒32人を対象として、畑かん営農出前講座を行った。徳之島の農業の特徴や畑かんの効果について、クイズ形式で問題を出した。

隣接するほ場では、固定式スプリンクラーや畑かんローラー、散水チューブの実演を行い、水利用を行うことで、収量が上がり、作業が効率的になることなどを学んでもらった。

講座を受けた中学生からは、「畑の手伝いをしていたが、畑かんがあるか分からない。家族と畑かんについて話してみたい」という意見が出された。



3 用水路建設に係るドキュメンタリー映画で水の大切さを知る

10月31日、天城町防災センターにて、令和5年度営農技術・経営研修会を開催し、174人が参加した。畑かんマイスターからの提案で、アフガニスタンの用水路建設に尽力した中村哲氏のドキュメンタリー映画を上映し、過去最多の参加者となった。

映画の中で、水が来てさとうきびが栽培できるようになり、出来たての黒糖を食べる姿が映し出された際には、一同感嘆の声が上がった。

上映後は、徳之島での水利用の歴史や、畑かん効果、事業紹介、使い方等の説明も行い、畑かん営農推進を図った。

